

商品先物取引業に係る ディスクロージャー資料

(平成31年3月期)

東京都港区虎ノ門一丁目2番8号
虎ノ門琴平タワー22階

サクソバンク証券株式会社

1. 会社の概況

① 商号、許可年月日等

商号又は名称	サクソバンク証券株式会社
代表者名	代表取締役社長 伊澤フランシスコ
所在地	東京都港区虎ノ門一丁目2番8号 虎ノ門琴平タワー22階
電話番号	03-5511-6070
許可年月日	平成23年1月1日（平成29年1月1日更新）
加入協会名	日本商品先物取引協会

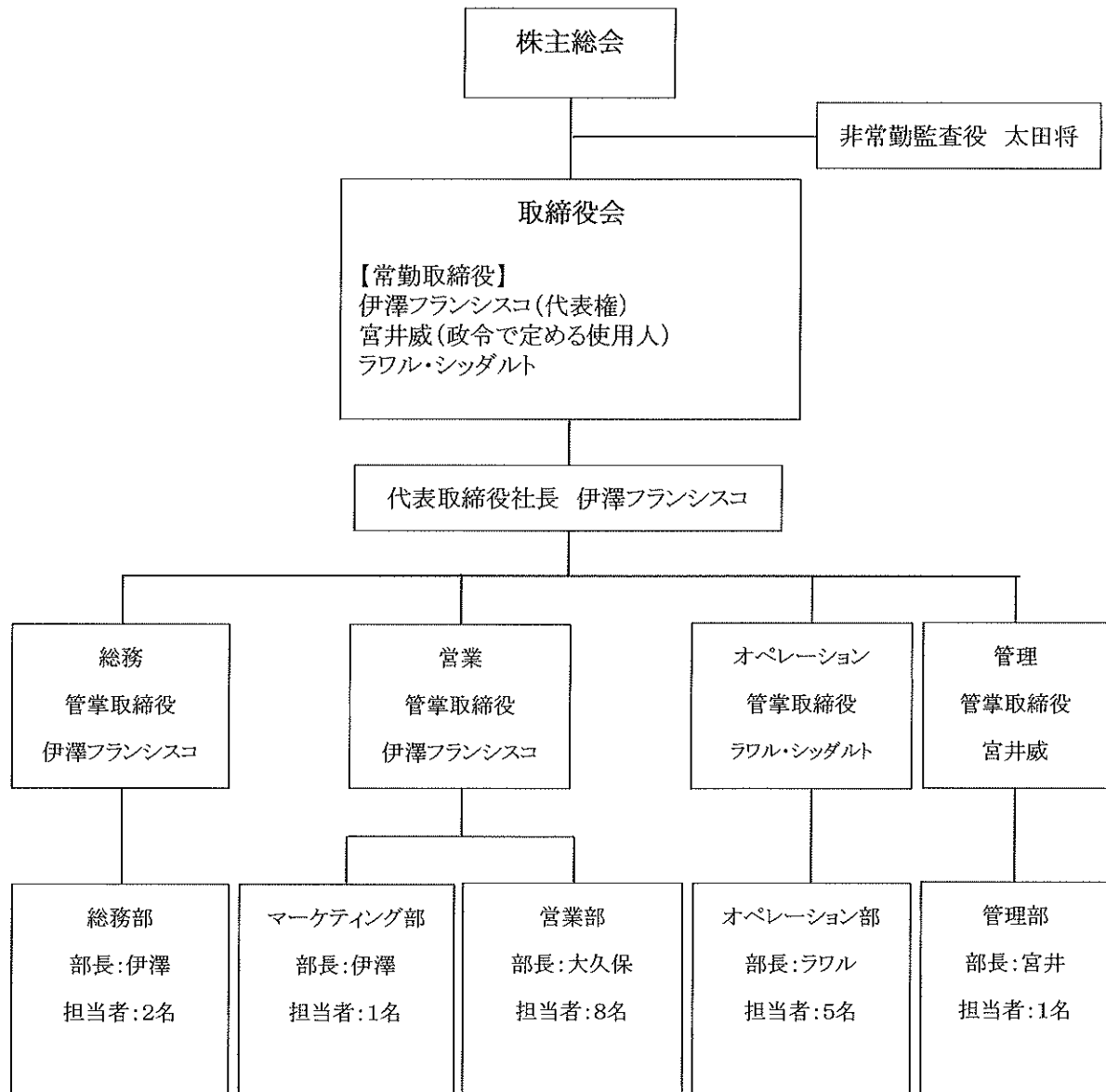
会社の沿革

平成18年4月	三井物産フューチャーズ株式会社（三井物産 100%子会社）全額出資にて会社設立。資本金5千万円
平成18年6月	資本金を9千万円に増資
平成18年11月	資本金を4億9千万円に増資 三井物産フューチャーズ株式会社の為替商品部を吸収し店頭デリバティブ（為替・貴金属の証拠金取引）の営業を開始
平成19年6月	三井物産フューチャーズ株式会社の全株式が三井物産株式会社からアストマックス株式会社へ譲渡 商号をアストマックスFX株式会社に変更
平成19年10月	本店を渋谷区恵比寿に移転 Saxo Bank A/S をカバー取引先とするシステムを導入
平成21年3月	Saxo Bank A/S をカバー取引先とする事業の全口座を解約 業務を休止
平成21年5月	資本金を2億円に減資
平成21年6月	Saxo Bank A/S の100%子会社となる 商号をサクソバンクFX株式会社に変更 営業を再開
平成21年7月	資本金を3億円に増資
平成21年10月	オプション取引（為替・貴金属）のサービスを開始
平成22年7月	商品CFDのサービスを開始
平成22年12月	商号をサクソバンクFX証券株式会社に変更
平成23年1月	経済産業大臣及び農林水産大臣より商品先物取引業許可取得 日本商品先物取引協会に加入
平成25年1月	(株)カカコム・フィナンシャルの店頭デリバティブ事業を会社分割により承継
平成25年3月	バイナリータッチ・オプション取引（為替）のサービスを停止

平成 28 年 2 月	商号をサクソバンク証券株式会社に変更
平成 28 年 3 月	総合口座サービスを開始およびフォワードベースの外国為替証拠金取引、債券 C F D 取引、海外商品先物取引の取り扱いを開始
平成 28 年 10 月	本店を港区虎ノ門に移転
平成 28 年 12 月	商品先物取引業者の許可を更新
平成 30 年 6 月	金融庁に第二種金融商品業者として登録
平成 30 年 9 月	外国証券、国内外の株価指数先物取引、海外通貨先物取引、海外金利先物取引の取り扱いを開始

② 事業の内容

(1) 経営組織



(2) 事業の内容

(a) 商品先物取引業

イ. 国内商品市場取引に係る業務

該当事項はありません。

ロ. 外国商品市場取引に係る業務

当社は、お客様から委託を受けた注文を Saxo Bank A/S に取次ぎます。同社は自身が会員である海外商品取引所へ当該注文を取次等するか、同社が会員ではない海外商品取引所については、さらに委託注文に係る取引所の会員に対して取次ぎ等を行います。当社の取り扱う海外商品先物取引が行われる海外商品市場を開設する海外商品取引所および主な銘柄は以下の通りです。

取引所の名称	主な取り扱い銘柄
CME Group 各取引所	金属（金、銀等）、エネルギー（原油、天然ガス等）、穀物（大豆、とうもろこし、小麦等）、食肉（牛肉、豚肉等）、その他（木材等）
NYSE Liffe（ロンドン、パリ）	穀物（小麦、とうもろこし等）、その他（コーヒー、ココア、砂糖等）
ICE Futures（米国、ヨーロッパ）	エネルギー（原油、天然ガス等）、その他（コーヒー、砂糖、ココア等）
EUREX	食肉（豚肉等）、その他（ジャガイモ、バター等）

ハ. 店頭商品デリバティブ取引に係る業務

商品先物取引法第2条第2項に掲げる店頭商品デリバティブ取引を行う業務であり、当社では貴金属証拠金取引、貴金属オプション取引及び商品 CFD 取引を扱っております。また、当該取引を顧客と行うにあたり、当社親会社である Saxo Bank A/S（デンマーク）をカバー取引先としております。

なお、当社で取引できる商品は以下の通りです。

取引名	当社における取扱商品
貴金属証拠金取引	金、銀、プラチナ、パラジウム
貴金属オプション取引	金、銀
商品 CFD 取引	シカゴコーン、CO2 排出権、UK ガソリン、金、ヒーティングオイル、シカゴ生牛、NY ココア、NY コーヒー、NY 粗糖、オレンジジュース、プラチナ、NY 銀、シカゴ大豆、UK プレント原油、NY 銅、WTI 原油先物、US ガソリン、US 天然ガス、パラジウム、小麦

(b) 兼業業務

当社は以下の業務を兼業業務として行っております。

イ. 第一種金融商品取引業である以下の業務

- ・店頭外国為替証拠金取引
- ・店頭外国為替オプション取引

- ・店頭有価証券C F D取引
- ・有価証券等管理業務
- ロ. 金融商品取引業者の兼業業務である以下の業務
 - ・顧客に対し他の事業者のあっせん又は紹介を行う業務
- ハ. 金融商品取引業者のその他業務である以下の業務
 - ・Saxo Bank A/S が行う業務にかかる紹介及びサポート業務

③ 営業所、事務所の状況

名称	所在地	電話番号
本店	東京都港区虎ノ門一丁目2番8号 虎ノ門琴平タワー22階	03-5511-6070

④ 財務の概要

決算年月	平成31年3月期	(円、%)
資本金		300,000,000
営業収益		717,910,861
受取手数料		172,889,890
金融収益		869,412
トレーディング損益		0
その他の営業収益		544,151,559
経常損益		△2,346,709
当期純損益		△10,309,662
純資産額規制比率 (%)		557.0

(注) 上記数字には金融関連取引高も含まれます。

⑤ 発行済株式総数

発行済株式総数 11,800株 (平成31年3月31日現在)

(注) 当社の株式は非上場です。

⑥ 上位10位までの株主の氏名等

氏名又は名称	保有株式数	割合
Saxo Bank A/S	11,800株	100%
計1名	11,800株	100%

⑦ 役員等の状況

役職名	氏名	代表権の有無	常勤・非常勤の別
代表取締役社長	伊澤 フランシスコ	有	常勤
取締役管理部長	宮井 威	無	常勤
取締役オペレーション部長	ラウル・シッダルト	無	常勤
監査役	太田 将	無	非常勤

⑧ 役員等及び使用人の数

	役員等		使用人	計
		うち非常勤		
総数	4名	1名	17名	21名
うち外務員	0名	0名	10名	10名

2. 営業の状況

① 営業の経過及び成果

当社の商品デリバティブ取引関連ビジネスは、前期から大幅な伸びを示しました。売買高（単位：円換算）を比較すると、下記表のとおり、全体で 53.7%の増加となっております。貴金属スポット取引と海外市場商品先物取引が堅調に増加しました。

	前期	当期	伸び率
商品 CFD	83,790,678,106	71,419,635,178	▲14.8%
貴金属スポット	54,697,823,956	136,954,727,862	+150.4%
海外商品先物	8,676,671,064	17,787,592,924	+105.0%
合計	147,165,173,126	143,905,052,059	+53.7%

今期の主要な営業指標は以下のとおりです（単位：千円）。

	通期	上期	下期	（上期：下期）	前期	前期比
○純営業収益	702,327	-	417,596	284,730 (59.5%：40.5%)	-	709,204 (-1.0%)
○販管費	705,062	-	357,044	348,017 (50.6%：49.4%)	-	554,466 (+27.2%)
○営業利益	-2,735	-	60,552	-63,287 (- ： -)	-	154,737 (-)
○経常利益	-2,346	-	60,918	-63,265 (- ： -)	-	156,829 (-)

今期の純営業収益（営業収益－金融費用）は 702,327 千円で、これは前期の 709,204 千円と比べると金額ベースで 6,876 千円、率で 1.0%の減少でした。全体としてはほぼ前期なみ

の水準だったわけですが、上期と下期の割合はほぼ6対4であり、下期にやや収益が低減しました。これは為替相場のボラティリティーが低下したことによります。為替相場が方向性を失うとFXの取引量が減少しますが、当社収益の大部分はFXが占めているため、その影響を受けたものです。

一方、事業規模の目安の一つである顧客預り金を見ますと、前期末の13,566,141千円から17,294,353千円へ、金額で3,728,211千円、率で27.5%伸びました。これは、9月から外国市場証券（株、ETF）の取り扱いを始めたことが大きく寄与しています。今期は、6月26日をもって一種業の変更登録及び二種業の登録が完了したことをうけ、外国市場証券の他、国内外金融先物取引の取り扱いを開始しました。ただ、現物証券の取引はFX等の証拠金取引に比べて収益性の点では劣りますので、預り金が大きく増加した割に営業収益への貢献度は限定的でした。

次に販管費に目を移すと、前期に比べて金額ベースで150,596千円、率で27.2%増加しています。前期に進めた増員が通期で影響した他、今期も営業部門に4名、経理部門に1名を採用しました。この結果、人件費が60.8%増加しております。広告宣伝費や電算機も増加しており、収益が前期並みに留まる一方で、費用が大きく増加した次第です。

以上の結果、営業利益は前期の154,737千円から▲2,735千円となりました。また、経常利益の段階では156,829千円から▲2,346,709となりました。また、自己資本規制比率の基本的項目は前期末の1,284百万円から1,274百万円へと減少しましたが、カバー取引先に預託している差入保証金が前期末の1,895百万円から8百万円に減少しましたので、自己資本規制比率は350.3%から501.2%へ上昇しております。

② 取引開始基準

(1) 当社は、次に定める基準に適合した顧客との間で商品先物取引業務を行うものとします。

- ・当該顧客が本取引について相当の知識があり、取引の仕組みやリスク等を十分に理解していること。
- ・当該顧客について、所定の本人確認が行われていること。

(2) 当社は、次の各号の一に該当する方に対しては、本取引の勧誘及び契約を行わないこととします。ただし、dまたはgに該当する方については、資産状況や収入等を考慮し、統括責任者が認めた場合、また、eまたはfに該当する方については、300万円以上の金融資産をお持ちであり、統括責任者が認めた場合はその限りではありません。

- (a) 未成年者、成年被後見人、被保佐人、被補助人、自己破産者の方
- (b) 生活保護法被適用者の方
- (c) 長期療養者及びこれに準ずる方
- (d) 70歳以上の方

- (e) 主に恩給、年金、退職金、保険金等により生計を維持されている方
- (f) 主婦等家事に専従し、一定の所得を有しない方
- (g) 学生（勤労学生を含む）の方
- (h) 非居住者の方

(3) 前項各号に該当しない方であっても、統括責任者が判断して適格ではないと認定したときは、お取引をお断りすることがあります。

③ 顧客数（商品先物取引業）

21,930 名（平成 30 年 3 月 31 日現在。個人・法人含む。）

3. 経理の状況

① 貸借対照表

別紙をご参照ください。

② 損益計算書

別紙をご参照ください。

③ 株主資本等変動計算書

別紙をご参照ください。

④ 個別注記表

別紙をご参照ください。

⑤ 監査に関する事項

このディスクロージャー資料のうち、貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書、個別注記表については、会社法に基づき監査役の監査を受けております。

以上

第 13 期

(平成 30 年 4 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日)

報 告 書

会 社 概 要
事 業 報 告
計 算 書 類 等
1. 貸 借 対 照 表
2. 損 益 計 算 書
3. 株主資本等変動計算書
4. 個 別 注 記 表
5. 付 属 明 細 書
監 査 報 告 書 謄 本

サクソバンク証券株式会社



THE SPECIALIST IN
TRADING & INVESTMENT

会 社 概 要

(平成 31 年 3 月 31 日時点)

商 号	サクソバンク証券株式会社 英語表記 : Saxo Bank Securities Ltd.
所 在 地	東京都港区虎ノ門一丁目 2 番 8 号 虎ノ門琴平タワー22 階
代 表 者	代表取締役社長 伊澤 フランシスコ
設 立	平成 18 年 4 月 26 日
資 本 金	3 億円
発行済み株式総数	11,800 株
株 主	SAXO BANK A/S (本社 : デンマーク王国)
事 業 内 容	①通貨関連デリバティブ取引の店頭取引 ②有価証券デリバティブ取引の店頭取引 ③商品デリバティブ取引の店頭取引 ④外国市場デリバティブ取引の委託の取次ぎ ⑤外国市場商品デリバティブ取引の委託の取次ぎ ⑥外国市場証券売買取引の委託の取次ぎ
定 款 目 的	①金融商品取引法に規定する金融商品取引業務 ②商品先物取引法に規定する商品先物取引業 ③前各号に付帯する一切の業務
登 録	金融庁登録 第一種金融商品取引業者 登録番号 : 関東財務局長 (金商) 第 239 号
許 可	商品先物取引業者 経済産業省 : 平成 22・12・22 商第 6 号 農林水産省 : 指令 22 総合第 1352 号
加 入 団 体	一般社団法人金融先物取引業協会 日本証券業協会 日本投資者保護基金 日本商品先物取引協会
指定紛争解決機関	特定非営利活動法人 証券・金融商品あっせん相談センター
主要取引金融機関	三井住友銀行
ウ ェ ブ サ イ ト	https://www.home.saxo/ja-jp
電 子 メ ー ル	info@saxobank.com
電 話 番 号	03-5511-6070

事業報告

(平成 30 年 4 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日)

1. 事業の経過と成果

(1) 業績概要

今期の主要な数字は以下のとおりです（単位：千円）。

	通期	上期	下期	(上期：下期)	前期	前期比
○純営業収益	702,327	-	417,596	: 284,730 (59.5% : 40.5%)	-	709,204 (-1.0%)
○販管費	705,062	-	357,044	: 348,017 (50.6% : 49.4%)	-	554,466 (+27.2%)
○営業利益	-2,735	-	60,552	: -63,287 (- : -)	-	154,737 (-)
○経常利益	-2,346	-	60,918	: -63,265 (- : -)	-	156,829 (-)

今期の純営業収益（営業収益－金融費用）は 702,327 千円で、これは前期の 709,204 千円と比べると金額ベースで 6,876 千円、率で 1.0%の減少でした。全体としてはほぼ前期末の水準だったわけですが、上期と下期の割合はほぼ 6 対 4 であり、下期にやや収益が低減しました。これは為替相場のボラティリティが低下したことによります。為替相場が方向性を失うと F X の取引量が減少しますが、当社収益の大部分は F X が占めているため、その影響を受けたものです。

一方、事業規模の目安の一つである顧客預り金を見ますと、前期末の 13,566,141 千円から 17,294,353 千円へ、金額で 3,728,211 千円、率で 27.5%伸びました。これは、9 月から外国市場証券（株、ETF）の取り扱いを始めたことが大きく寄与しています。今期は、6 月 26 日をもって一種業の変更登録及び二種業の登録が完了したことをうけ、外国市場証券の他、国内外金融先物取引の取り扱いを開始しました。ただ、現物証券の取引は F X 等の証拠金取引に比べて収益性の点では劣りますので、預り金が大きく増加した割に営業収益への貢献度は限定的でした。

次に販管費に目を移すと、前期に比べて金額ベースで 150,596 千円、率で 27.2%増加しています。前期に進めた増員が通期で影響した他、今期も営業部門に 4 名、経理部門に 1 名を採用しました。この結果、人件費が 60.8%増加しております。広告宣伝費や電算機も増加しており、収益が前期並みに留まる一方で、費用が大きく増加した次第です。

以上の結果、営業利益は前期の 154,737 千円から▲2,735 千円となりました。また、経常利益の段階では 156,829 千円から▲2,346,709 となりました。また、自己資本規制比率の基本的項目は前期末の 1,284 百万円から 1,274 百万円へと減少しましたが、カバー取引先に預託している差入保証金が前期末の 1,895 百万円から 8 百万円に減少しましたので、

自己資本規制比率は 350.3%から 501.2%へ上昇しております。

(2) 業務体制等

当期中は組織変更がありませんでしたので、期首から期末にかけて業務体制は以下のとおりでした。ただし、取締役オペレーション部長については、11月から現職に変更となっております。

部	部長	担当	主な業務内容
総務部	伊澤 ※兼務	2名	経理業務、人事業務
マーケティング部	伊澤 ※兼務	1名	一般投資家層に対するマーケティング
営業部	大久保	8名	顧客（潜在顧客含む）サポート業務
オペレーション部	ラワル	5名	新規顧客の審査、顧客口座に係る入出金、 法令諸規則に基づく報告届出 I T 関連業務
管理部	宮井	1名	法令遵守、社員教育、法令諸規則に基づく 報告届出

なお、サクソバンク・グループのリソースを一部活用し、会計業務と税務についてはアウトソーシングする（KPMG コンサルティング株式会社）という従来からの体制に変更はありません。

(3) 営業方法

顧客の開拓については、マスメディアやイベント等を利用した宣伝広告等により、顧客の自発的な申込みを喚起する方法を主としていますが、デモ口座の開設に伴い勧誘を招聘された場合に限り電話をすることとしています。ただし、これも顧客に関する情報の収集（興味のあるプロダクトや投下資金等）を主な目的としており、積極的な勧誘行為は行っていません。

また既存顧客についても、上記の情報収集やイベントの案内等を主な目的として電話でのコンタクトを図っておりますが、やはり積極的な取引の勧誘までは行っていません。

2. 業務の適正を確保するための体制

(1) 取締役および使用人の職務の執行が法令および定款に適合することを確保するための体制

当社はコンプライアンスを業務執行の最重要命題と認識し、基本的な行動の指針として「役職員行動規範」を制定しています。全役職員は、これにもとづいて法令や社会規

範および社内規則を遵守し、倫理に則した活動を行います。また、業務に関するより具体的な指針・規則として「倫理コード」「従業員服務規程」を定めています。

それらの遵守徹底を推進する方策として、まずコンプライアンス委員会の設置があげられます。本委員会は、コンプライアンス意識の徹底・向上を進めるための教育活動を行うとともに、問題や課題を早期に発見して適切な対処を行えるよう、毎月1回定例の会合を行っています。さらには、委員長招集により随時開催する体制を敷いています。

万が一コンプライアンス違反が発生した場合は、経営陣自ら問題解決にあたり、原因追及、再発防止に努めるとともに、必要に応じてコンプライアンス懲戒委員会に諮問し、責任を明確にした上で公正妥当な処分を行います。

上記のほか、管理部によるコンプライアンス関係の研修も実施されています。

(2) 取締役の職務の執行に係る情報の保存および管理に関する体制

取締役の職務の執行に係る以下の情報については、文書または電磁的記録により適切に保存および管理を行っています。

- ①株主総会議事録、取締役会議事録それらの関連資料
- ②各種委員会その他重要会議の議事の経過およびその関連資料
- ③代表取締役を決裁者とする稟議書およびその他重要な社内申請書類
- ④会計帳簿、計算書類、重要な契約書、官公庁その他公的機関に提出した書類の写し等その他重要文書

(3) 損失の危険の管理に関する規程その他の体制

損失の危険（リスク）の管理については、「リスク管理に係る基本方針」を定めるとともに、リスクの種類に応じて対応を定めています。

財務上のリスクについては、金融商品取引法の規定ならびに「リスク管理規程」に基づき、毎営業日において把握しています。また、事務上のリスクについては、マニュアルを整備してコントロール機能を明確化しています。システムリスクについては「システムリスク管理規程」を定め、対策および問題発生時の対応を明確化しています。大規模災害等のリスクについては、「事業継続に係る対策規程」を制定し、被害を最小限に食い止め利害関係者への影響を最小化するための方策を明確にしています。

さらには、各種リスクを視覚的に把握できるようデザインされたレポートを毎営業日作成し、サクソバンクへ報告しています。

(4) 取締役の職務の執行が効率的に行われることを確保するための体制

当社は取締役会を設け、定時取締役会を毎月1回開催し、臨時取締役会を必要に応じて随時開催しています。取締役会は、代表取締役および取締役の職務執行が効率的かつ適正に行われているかの監督を行います。

また、取締役会の意思決定機能を補完する制度として、稟議制度を構築しています。合議制による意思決定のもとでその迅速化を図るため、「稟議規程」に基づいて運営され、取締役会付議事項に次ぐ重要な決議事項の決済を行っています。

以上

計 算 書 類 等

1. 貸借対照表
2. 損益計算書
3. 株主資本等変動計算書
4. 個別注記表
5. 付属明細書

貸借対照表

平成31年3月31日現在

サクソバンク証券株式会社

(単位: 円)

資産の部		負債の部	
科 目	金 額	科 目	金 額
【流動資産】	【 20,564,176,180 】	【流動負債】	【 19,408,665,726 】
現金預金	721,675,421	関係会社未払金	3,180,070
金銭の信託	17,500,000,000	その他未払金	6,389,346
外国為替取引顧客差金	2,002,750,200	未払費用	40,391,339
前払費用	27,740,079	未払法人税等	787,500
差入保証金	278,675,190	賞与引当金	8,184,965
未収還付法人税	11,830,530	その他引当金	10,125,000
未収還付消費税	16,781,814	預り金	2,834,513
預託金	2,000,000	預り顧客証拠金	17,294,353,938
前渡金	2,722,946	仮受金	39,668,855
		カバー取引相手方差金	2,002,750,200
		【特別法上の準備金】	【 245 】
		金融商品取引責任準備金	245
【固定資産】	【 118,918,853 】	負債の部合計	19,408,665,971
(有形固定資産)	(37,511,977)	純資産の部	
内部造作	29,488,640	【株主資本】	【 1,274,429,062 】
器具備品	44,211,163	(資本金)	(300,000,000)
減価償却累計額	△ 36,187,826	(利益剰余金)	(974,429,062)
(無形固定資産)	(45,054,379)	繰越利益剰余金	974,429,062
ソフトウェア	39,480,313		
商標権	29,150	純資産の部合計	1,274,429,062
のれん	5,544,916		
(投資その他の資産)	(36,352,497)		
敷金等	25,283,497		
繰延税金資産	11,069,000		
資産の部合計	20,683,095,033	負債・純資産の部合計	20,683,095,033

損益計算書

自 平成30年4月1日 至平成31年3月31日

サクソバンク証券株式会社

(単位: 円)

科 目		金 額	
営業収益			
受入手数料	172,889,890		
金融収益	869,412		
その他の営業収益	544,151,559		717,910,861
金融費用			15,583,771
純営業収益			702,327,090
販売費及び一般管理費			705,062,348
営業利益(又は営業損失)			△2,735,258
営業外収益			
雑収入	1,071,360		1,071,360
営業外費用			
為替差損	5,803		
雑損失	677,008		682,811
経常利益(又は経常損失)			△2,346,709
特別損失			
固定資産除却損	2		2
税引前当期純利益(又は税引前当期純損失)			△2,346,711
法人税、住民税及び事業税	5,344,706		
法人税等調整額	2,618,000		7,962,706
当期純利益(又は当期純損失)			△10,309,417

株主資本等変動計算書

自 平成30年4月1日 至平成31年3月31日

サクソバンク証券株式会社

(単位: 円)

	株主資本				評価・換算差額等		純資産合計
	資本金	利益剰余金		株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	評価・換算差額 等合計	
		その他利益剰余金	利益剰余金 合計				
		繰越利益剰余金					
当期首残高	300,000,000	984,738,724	984,738,724	1,284,738,724	-	-	1,284,738,724
当期変動額							
当期純利益		△10,309,417	△10,309,417	△10,309,417	-	-	△10,309,417
当期変動額合計	-	△10,309,417	△10,309,417	△10,309,417	-	-	△10,309,417
当期末残高	300,000,000	974,429,307	974,429,307	1,274,429,307	-	-	1,274,429,307

個 別 注 記 表

1. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

(1) デリバティブの評価基準及び評価方法
時価法を採用しております。

(2) 固定資産の減価償却方法

- ・有形固定資産……定率法によっております。
- ・無形固定資産……定額法（自社利用のソフトウェアは社内における利用可能期間（5年）に基づく定額法）によっております。
但し、のれんについては5年間の均等償却を行っております。

(3) 引当金の計上基準

- ・賞与引当金……従業員に対する賞与の支出に備えるため、支給見込額のうち当期に対応する見積額を計上しております。
- ・その他引当金……オフィスの原状回復費用の支出に備えるため、支給見込額のうち当期に対応する見積額を計上しております。
- ・金融商品取引責任準備金……証券事故による損失に備えるため、金融商品取引法第46条の5（および金融商品取引業等に関する内閣府令第175条）に定めるところにより算出した額を計上しております。

(4) 収益の計上基準

買付け又は売付けの取引成立時、転売又は買戻し及び受渡しによる決済時にそれぞれ手数料収益を認識しております。

(5) 消費税等の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は税抜方式によっております。

2. 株主資本等変動計算書に関する注記

(1) 当該事業年度の末日における発行済株式の数

当該事業年度の末日における発行済株式の数は、11,800株であります。

引当金の明細

自 平成 30 年 4 月 1 日 至平成 31 年 3 月 31 日

サクソバンク証券株式会社

(単位：円)

科目	当期首残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
賞与引当金	4,264,343	12,500,000	8,579,378	8,184,965
その他引当金	5,625,000	4,500,000	0	10,125,000

有形固定資産等明細表

資産の種類	当期首 残高	当期 増加額	当期 減少額	当期末 残高	減価償却累計額 又は償却累計額		差引当期末 残高
						当期償却 額	
有形固定資産 (内部造作)	千円 29,170	千円 317	千円 -	千円 29,487	千円 4,254	千円 1,805	千円 25,233
有形固定資産 (器具備品)	39,234	6,360	1,383	44,211	31,933	5,450	12,278
有形固定資産計	68,404	6,677	1,383	73,698	36,187	7,256	37,511
無形固定資産 (ソフトウェア)	27,250	41,942	-	69,192	29,712	6,231	39,480
無形固定資産 (商標権)	318	-	-	318	288	31	29
無形固定資産 (のれん)	126,556	-	-	126,556	121,011	13,720	5,544
無形固定資産計	154,125	41,942	-	196,066	151,011	19,982	45,054
長期前払費用							
繰延資産							
繰延資産計							

監 査 報 告 書

当監査役は、2018年4月1日から2019年3月31日までの第13期事業年度の取締役の職務の執行を監査いたしました。その方法及び結果につき以下のとおり報告いたします。

1. 監査の方法及びその内容

監査役は、取締役及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めると共に、取締役会その他重要な会議に出席し、取締役及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、本社において業務及び財産の状況を調査いたしました。

以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告及びその附属明細書について検討いたしました。

更に、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書、個別注記表）及びその附属明細書について検討いたしました。

2. 監査の結果

(1) 事業報告等の監査結果

- 一 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、会社の状況を正しく示しているものと認めます。
- 二 取締役の職務の執行に関する不正の行為又は法令もしくは定款に違反する重大な事実は認められません。

(2) 計算書類及びその附属明細書の監査結果

計算書類及びその附属明細書は、会社の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認めます。

2019年5月21日

サクソバンク証券株式会社

監 査 役 太 田 将



以上